

はじめに

今まで手にした日本茶の本とは少し違うと思います。日本茶の本というと産地や茶葉の種類やお茶のいれ方、お店などを紹介していく図鑑的な本が多かったかもしれませんが。この本は、がんばる現代女性のために日本茶を日々の暮らしに取り入れるメリットについて紹介していく「ライフ」にフォーカスした内容になっています。

日本茶のある暮らしを取り入れることで、どんなふうに変わっていきえるのか？

多種多様なドリンクがある中で、なぜあえてここで日本茶なのか？心のリラックスにつながる時間を自ら作り出すことで、内面外見ともにワンランクアップした女性になれるのはなぜなのか？

以前お客様からいただいた直筆のお手紙にこんなことが書いてありました。とても嬉しくて宝物にしています。

「暴言の酷い男性とお付き合いしていて、別れなきゃと思いつつ寂しくて別れられず。どんな時間だけが過ぎていきました。でも、お茶の楽しみを知って、1人の時間を持つたり美味しいお菓子を買いに行ったり、自分で自分のことを大切に出来るようになったら、とても自由で幸せで、暴言を受け入れることはなくなり、周囲にいる自分を大切にしてくれる沢山の人たちの存在にも気づきました。CHA-ICHI WORKSのお茶講座との出会いに感謝。」

周りの人の影響ではなく、自分の在り方こそが最重要。自分を見つめる時間を作るのに、実は日本茶ほど最適な飲み物はありません。

さて、ここからは私の経歴をご紹介させていただきます。私の社会人スタートは、新卒で株式会社オシワード檜山に就職。生産担当の専務取締役の直管轄の部署に入り、全社分の生産進捗を専務に報告する仕事でした。事務職を3年半経験した後に、イタリアのブランド「グッチ」の銀座並木通り店の営業販売職に転職。当時は芸能人やスポーツ選手のお客様も数多く来店されるなか、接客や高額商品を売る技術を学びました。年齢を重ねるにつれ、大好きだったファッションの仕事よりも、食の仕事に興味を持つようになり、夜間のフードコーディネータースクールへ1年間通

い、アパレル業界から茶業界へ。日本茶の専門小売チェーン店を展開する会社の本部企画室へ転職し、日本茶と健康茶の商品企画、イベント企画、販促企画などを経験。茶葉素材調達、ネーミング、パッケージデザイン、販促を含めた企画全般を得意としていました。

しかし転機とは、待たなくてもやってくる。感情をいれると苦しくなるので、出来事だと思えることにしました。誰も恨まずに、あくまでも私の人生に起こる出来事のうちのひとつだと思おう、と。

とはいえ……これからどうしよう？

結局は、もう1日たりとも働けないという葛藤を繰り返しながら8年間続けたお茶の企画の仕事しか思い浮かびませんでした。私自身、ものすごく疲れるとお茶を飲みたくなります。その飲み物は身体に染みわたり、活力を与えてくれ、コーヒーやアルコールでは得られない不思議な魅力にあふれていました。

このココロメンテナンスに優れた飲み物を私と同じように現代のストレス社会でがんばる女性たちに伝えていこう。自分でセレクトした茶葉や茶器などをオンラインストアで販売しながら、日本茶ワークショップを始めたのが2012年秋。現在も定期的に開催する日本茶ワークショップは、ありがたいことに募集から数時間で満席となり、受講生は延べ3000名を超えました。

毎回、お客様が言ってくださる言葉があります。「すごく楽しい！今まで、こんなにも日本茶のことを知らなかったなんて損していた感じ！」私たちの自国で長い歴史を持つ、日本人のソウルドリンク。しかしながら、これを読んでいるみなさんも、まだ日本茶の魅力に気づいていないかもしれませんね。

お茶の香りに包まれながら、ただお茶を飲む。今ここにいて、そのことに感謝する。そこから見える日常の景色は、今までと少し違って見えるかもしれません。

あなたも、そろそろ日本茶を始めてみませんか？

